

様式（評価機構フォーマット版）

令和5年度
自己評価報告書

（専門学校等評価基準 Ver.4.0 準拠版）

令和6年5月2日

学校法人国際志学園 和歌山医療スポーツ専門学校

目 次

教育目標と本年度の重点目標の評価.....	1	基準5 学生支援.....	27
基準1 教育理念・目的・育成人材像.....	2	5-16 就職等進路.....	27
1-1 理念・目的・育成人材像.....	3	5-17 中途退学への対応.....	29
基準2 学校運営.....	4	5-18 学生相談.....	31
2-2 運営方針.....	5	5-19 学生生活.....	33
2-3 事業計画.....	6	5-20 保護者との連携.....	34
2-4 運営組織.....	7	5-21 卒業生・社会人.....	36
2-5 人事・給与制度.....	8	基準6 教育環境.....	38
2-6 意思決定システム.....	9	6-22 施設・設備等.....	38
2-7 情報システム.....	10	6-23 学外実習、インターンシップ等.....	40
基準3 教育活動.....	11	6-24 防災・安全管理.....	42
3-8 目標の設定.....	11	基準7 学生の募集と受入れ.....	43
3-9 教育方法・評価等.....	13	7-25 学生募集活動は、適正に行われているか.....	44
3-10 成績評価・単位認定等.....	15	7-26 入学選考.....	45
3-11 資格・免許の取得の指導体制.....	17	7-27 学納金.....	46
3-12 教員・教員組織.....	19	基準8 財務.....	47
基準4 学修成果.....	21	8-28 財務基盤.....	47
4-13 就職率.....	21	8-29 予算・収支計画.....	48
4-14 資格・免許の取得率.....	23	8-30 監査.....	49
4-15 卒業生の社会的評価.....	25	8-31 財務情報の公開.....	50

基準 9 法令等の遵守	51
9-32 関係法令、設置基準等の遵守.....	51
9-33 個人情報保護.....	52
9-34 学校評価.....	53
9-35 教育情報の公開.....	54
基準 10 社会貢献・地域貢献	55
10-36 社会貢献・地域貢献.....	55
10-37 ボランティア活動.....	56

評定の基準)

評定 4 = 適切 (実施率 = 100%)

評定 3 = ほぼ適切 (実施率 = 50%以上 100%未満)

評定 2 = やや不適切 (実施率 = 25%以上 50%未満)

評定 1 = 不適切 (実施率 = 25%未満)

教育目標と本年度の重点目標の評価

学校の教育理念・目標	令和5年度重点目標	重点目標・計画の達成状況	課題と解決方策
<p>「志魂医才」「0-100プロジェクト」本校の開校時に掲げた教育理念であります。</p> <p>今後、迎える超高齢者の時代にも対応できる、豊かな教養とプロフェッショナルな医療人としての技術を持ち、医療人としての誇りとボランティア精神が持てる教育を実施している。</p> <p>国民の0歳から100歳までの健康な生活に寄与し、社会貢献できる人材の育成を目指す。</p> <p>豊かな教養とプロフェッショナルな医療人としての技術を持ち、国民の健康に寄与できる人材の育成のため「挨拶」「感謝」「感動」「責任」を重んじる教育目標。</p> <p>1. 人格の形成</p> <p>(1) 他人への思いやり、自分の可能性を最大に伸ばしようとする謙虚さと誠実さを涵養する。</p> <p>(2) 日本人独自の和の心や礼節、利他の精神を涵養する。</p>	<p>1. 授業改善のための研究会と研修の実施</p> <p>2. 資格試験全員合格に向けた組織的対策の実施</p> <p>3. 卒業後の進路指導の一つとしての企業説明会や合同就職説明会の改善実施と参加</p> <p>4. 地域と連携し、各種イベントやボランティア活動等への積極的参加</p>	<p>1. 主体的な授業研究会を実施。学科内外の多くの教員が参加した結果、それぞれの授業の現状と課題を共有して改善の方向性が一層明確になった。</p> <p>2. 資格試験合格に向け、各学科とともに組織的な対策を講じ、試験の傾向分析をし、計画的に進められた。</p> <p>3. 学科教員と担任を中心とした企業説明会の企画・運営が行われ、学生の積極的な参加につながった。</p> <p>4. 主催事業としてのシンポジウムやフォーラムを始め地域と連携して講演活動などを行った。</p>	

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	校長 尾藤 何時夢
--------	-----------	-------	-----------

基準 1 教育理念・目的・育成人材像 【平均評定：4.0】

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>教育理念と目標・ビジョンに関して日常的に教職員・学生も意識するような環境作りを行っている。</p> <p>教育目標や学校法人としてのビジョンに関して朝礼等にて日常的に唱和している。</p>	

最終更新日付

令和6年3月31日

記載責任者

校長 尾藤 何時夢

1-1 理念・目的・育成人材像

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
1-1-1 理念・目的・育成人材像は、定められているか	理念や教育目標・目的に基づいた人材像「プロフェッショナルな医療人」の育成を目指す。	定められている。	特に無し。	学生便覧
1-1-2 育成人材像は専門分野に関連する業界等の人材ニーズに適合しているか	課程（学科）毎に関連業界等が求める知識・技術・技能・人間性等人材要件を明確にする。	明確にしている。	特に無し。	
1-1-3 理念等の達成に向け特色ある教育活動に取り組んでいるか	全学科において0歳から10歳まで動ける身体づくりをサポートできる人材の育成を目指している。	取り組んでいる。	特に無し。	
1-1-4 社会のニーズ等を踏まえた将来構想を抱いているか	医療・スポーツの側面から社会のニーズに応えるための構想を抱く。	取り組んでいる。	特に無し。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理念やビジョンは教職員だけでなく学生に共有できるよう、入学式からイベントや行事でも常に伝達できるよう心がけ、一体となって達成に向かっていく方向です。	

最終更新日付

令和6年3月31日

記載責任者

校長 尾藤 何時夢

基準 2 学校運営 【平均評定：4.0】

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>毎朝の職員朝礼による情報の共有の徹底など、毎日を滞りなく運営していくための施策など、また毎月行う管理者会議による情報の共有などを通して体制を整えている。</p> <p>さらに、日報制度による日々の学生の様子や教職員の情報を各部署の長が取りまとめ、校長が吸い上げるような仕組みとしている。</p>	

最終更新日付

令和6年3月31日

記載責任者

校長 尾藤 何時夢

2-2 運営方針

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-2-1 理念に沿った運営方針を定めているか	常に理念を意識し、運営方針を文書化することで教職員に周知する。	周知できている。	特に無し。	スタンダードブック

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学校の教育理念だけでなく、法人の理念も周知し、理念に沿った行動ができるように努めている。	

最終更新日付

令和6年3月31日

記載責任者

校長 尾藤 何時夢

2-3 事業計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-3-1 理念等を達成するための事業計画を定めているか	短期・中期の計画を策定する。執行体制、業務分担等を明確にする。	明確にしている。	特に無し。	短期・中期計画 組織図 職務分担表

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

最終更新日付

令和6年3月31日

記載責任者

校長 尾藤 何時夢

2-4 運営組織

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-4-1 設置法人は組織運営を適切に行っているか	適切に理事会および評議員会を開催し、組織運営のための審議を行う。また適宜、寄附行為の改正を行う。	定例の理事会・評議員会の開催および寄附行為の変更および登記手続きを行っている。	特になし	理事会議事録 評議員会議事録 学則
2-4-2 学校運営のための組織を整備しているか	学校運営に必要な事務および教学組織を整備する。必要な委員会組織等会議体を整備する。	学校運営や教学の状況を共有するために、月に一度、学内会議を開催している。	特になし	学内会議議事録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>規程や規則等を作成し、なおかつ必要に応じて更新していくようにしている。理事会や評議委員会等も定期的を開催し、滞りなく行っている。</p>	

最終更新日付

令和6年3月31日

記載責任者

副校長 味村吉浩

2-5 人事・給与制度

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-5-1 人事・給与に関する制度を整備しているか	採用計画、昇任昇級基準を明確化し、適切な人事考課を行う。	適切な評価を行うため、評価基準に加え、個別面談の機会を取り入れている。	特になし	就業規則 給与規程

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
人事考課に関して、毎年より良いものへと更新している。	外部コンサルタントと評価制度について策定中。

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	副校長 味村吉浩
--------	-----------	-------	----------

2-6 意思決定システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-6-1 意思決定システムを整備しているか	教務・財務等の意思決定の権限を規程・規則等で明確化する。	全ての事項において、書面で意思決定ができるように稟議等の回付を行っている。	特になし	報連相シート 稟議書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教務および財務にかかる意思決定システムは構築されているものの、これを規程や規則においてさらに詳細に規定する必要がある。	

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	副校長 味村吉浩
--------	-----------	-------	----------

2-7 情報システム

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
2-7-1 情報システム化 に取組み、業務の効率 化を図っているか	業務ロスをなくすため、連携の 強化に努める。	コミュニケーションツールを 導入し、教職員同士の情報共有 の円滑化を進める。	ツールの熟練度に差がある状 態のため、相互フォローにより 均一化を図る。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
開校以来大きなトラブルは発生しておらず、ネットワークの構築としては問題ないと思われる。学生及び職員の増加に伴い、拡張していくことが想定されるが現状拡張の予定はありません。	

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	IT事業部 千田直哉
--------	-----------	-------	------------

基準 3 教育活動 【平均評定：3.9】

3-8 (1/1)

3-8 目標の設定

柔道整復学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	教育理念に基づき、知識と技術を持った人材を育成する。	講義だけでなく、講義後にも学習環境を確保することで知識の定着を目指す。学内外での現場実習を行い、地域との連携を図る。	課題：学習習慣の定着 解決方向：講義後に補習や勉強会を実施する。	学生便覧
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	国家試験合格に向け、各科目で教育到達目標を設定し、明記している。	学生便覧や各科目のシラバスに記載し、講義の初回に学生へ説明している。	なし。	学生便覧 シラバス

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
担任を通して、到達目標と現在地の確認を学生と行う。各学生に必要なサポートを学科教員で話し合い、提案できる環境をつくっている。	なし。

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 範 菜々美
--------	-----------	-------	-----------

スポーツトレーナー学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-8-1 理念等に沿った教育課程の編成方針、実施方針を定めているか	教育理念に準ずる。	ZERO-100 プロジェクトの実現・人材育成をめざし、子どもへのトレーニング指導や高齢者への介護予防事業などを実習として取り組んでいる。	特になし。	
3-8-2 学科毎の修業年限に応じた教育到達レベルを明確にしているか	教育理念に準ずる。	シラバス上に記載している。	特になし。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育目標を達成するための学科運営を行う。子どもから高齢者までの健康づくりをサポートできる人材の育成を目指していく。	特になし。

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 長澤 和花
--------	-----------	-------	-----------

3-9 教育方法・評価等

柔道整復学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	教育目標に沿った教育課程を編成する。	法令に基づいた教育課程の編成。	本校学生の学力に対応した教育課程への見直しを図る。	学生便覧 教育課程
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	職員会議での意見聴取、非常勤講師からの意見を反映する。	教職員や非常勤講師の意見聴取を行っている。	在校生から意見を聴取する。	職員会議議事録
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	幅広い職域理解を目指し、自身の将来像についてのイメージを明確にする。	施術所や病院、企業などを誘致し、企業説明会を実施。学外で実施されている就職フェアへの参加。	なし	シラバス
3-9-4 授業評価を実施しているか	期末に学生に対して授業評価アンケートを実施し、教員の指導力向上に努める。	授業評価アンケートの実施。	なし	授業評価アンケート

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 範 菜々美
--------	-----------	-------	-----------

スポーツトレーナー学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-9-1 教育目的・目標に沿った教育課程を編成しているか	本学科で取得可能となる資格カリキュラムに沿って、教育課程を編成している。	資格取得のスケジュールに沿った授業展開を行っている。	特になし。	学生便覧
3-9-2 教育課程について、外部の意見を反映しているか	職員会議での意見聴取、非常勤講師からの意見を反映する。	教職員や非常勤講師の意見聴取を行っている。	在校生からも意見を聴取する。	職員会議議事録
3-9-3 キャリア教育を実施しているか	外部への企業説明会への案内、外部での実習の実施。	企業説明会への案内や外部での実習を実施している。	様々な実習や企業説明会・見学に参加してもらい、就職に関する意欲を引き出す。	
3-9-4 授業評価を実施しているか	前期・後期末に授業アンケートを実施。	担当教員へアンケート結果を配布し、授業運営の振り返りを実施している。	アンケート実施を継続し、よりよい授業運営へつなげる。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育目標に沿った授業の実施を行う。また、キャリア教育にも力を入れていく。	地域のイベントへの参加 高齢者介護予防事業の実施 高校部活動への実習の実施

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 長澤 和花
--------	-----------	-------	-----------

3-10 成績評価・単位認定等

柔道整復学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	学生便覧に明記する。	各年度のオリエンテーションで担任により説明を行う。	なし	学生便覧 シラバス
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	研究発表を行い、学生教員間で共有する。	2年次での近畿学術大会での発表を実施する。	なし	近畿学術大会抄録集

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績評価については学生便覧に明記し、各年度のオリエンテーション内で担任から学生へ説明を行い、認識の齟齬が起こらないようにする。また、10月に実施される近畿学術大会でグループ発表を行う。	なし

最終更新日付

令和6年3月31日

記載責任者

学科長 範 菜々美

スポーツトレーナー学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-10-1 成績評価・修了認定基準を明確化し、適切に運用しているか	学生便覧・シラバスに準ずる。	オリエンテーションにて担任から説明を行う。	特になし。	学生便覧 シラバス
3-10-2 作品及び技術等の発表における成果を把握しているか	実習参加後の実習報告書の提出。	実習参加後に実習報告書を提出、担任が確認しコメントを記入している。	特になし。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
オリエンテーション時に、学生便覧を使用した学生への説明を実施している。	特になし。

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 長澤 和花
--------	-----------	-------	-----------

3-11 資格・免許の取得の指導体制

柔道整復学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	柔道整復師国家試験合格を目標とし、教育課程を編成している。	学生便覧に明記している。	なし	学生便覧 教育課程
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	柔道整復師国家試験に向け、教員が指導する。	講義だけでなく、学習の定着ができていない部分に関しては補習等で対応している。	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

最終更新日付

令和6年3月31日

記載責任者

学科長 範 菜々美

スポーツトレーナー学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-11-1 目標とする資格・免許は、教育課程上で、明確に位置づけているか	特定非営利活動法人日本トレーニング指導者協会におけるJATI資格取得に向けた教育課程を編成する。	学生便覧に明記するとともに、オリエンテーションに際して学生に説明する機会を設けている。	特になし。	
3-11-2 資格・免許取得の指導体制はあるか	資格取得に応じた講義を実施するほか、必要に応じて補講を実施する。	資格取得に特化した講師を招聘して講義を実施している。必要に応じて補講を実施している。	特になし。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本学科で取得可能なすべての資格試験の合格を目指し、定期的に学習の定着率を模擬試験等で確認する。	特になし。

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 長澤 和花
--------	-----------	-------	-----------

3-12 教員・教員組織

柔道整復学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	授業科目と教員の能力・資質を照合して、設置する。	臨床経験や専門分野などを踏まえて、授業科目を決定する。	なし。	教員一覧 シラバス
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	研修等に参加し、教員の指導力・専門性の向上を目指す。	指導力向上研修、専攻分野研修に参加。	なし。	
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	組織図を作成して明確にする。	本学園総会にて、組織体制が明記されている。	なし。	スタンダードブック

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
各研修に参加することで、学科教員の質を向上させるよう努めている。	

最終更新日付

令和6年3月31日

記載責任者

学科長 範 菜々美

スポーツトレーナー学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
3-12-1 資格・要件を備えた教員を確保しているか	資格・要件を備えた教員を配置する。	資格・要件を備えた教員を配置する。	特になし。	シラバス
3-12-2 教員の資質向上への取組みを行っているか	関連分野の知識向上のための研修への参加。	関連分野の知識向上のための研修への参加を行っている。	特になし。	
3-12-3 教員の組織体制を整備しているか	教員の組織体制を整備する。	教員の組織体制を整備している。	特になし。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教員の資質向上を目標にし、専門分野への研修へ積極的に参加している。	特になし。

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 長澤 和花
--------	-----------	-------	-----------

基準 4 学修成果 【平均評定：3.5】

4-13 (1/1)

4-13 就職率

柔道整復学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13-1 就職率の向上が図られているか	企業説明会の実施、就職フェアへの参加を行っている。	企業説明会、就職フェアへの積極的な参加を推奨している。	なし。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
1 年次から企業説明会や就職フェアへ参加することで、職域理解を促し、企業と学生のミスマッチが生じないように心がけている。	なし。

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 範 菜々美
--------	-----------	-------	-----------

スポーツトレーナー学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-13-1 就職率の向上が 図られているか	就職率 100%を目指す。	企業説明会や企業見学への案内を行う。定期的な学生面談の実施。	県内での就職先を増やせるように努める。早期の就職先の希望の確認を行う。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生面談を通して、早期から学生の就職先の希望を聴取する。	特になし。

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 長澤 和花
--------	-----------	-------	-----------

4-14 資格・免許の取得率

柔道整復学科

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	国家試験合格率 100%を目標とする。	資格取得に向けて、特別講義や補習を実施している。年に3回程度、模擬試験を実施し、現地の確認を行う。	なし。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
合格率の向上を図るために、1年次から模擬試験を行い、指導体制の充実を図る。	なし。

最終更新日付

令和6年3月31日

記載責任者

学科長 範 菜々美

スポーツトレーナー学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-14-1 資格・免許取得率の向上が図られているか	合格率 100%を目指す。	合格率向上のための対策授業の実施。	模擬試験の実施を行い、それぞれの学生の学力を把握する。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
資格試験合格のための対策授業の実施している。今後、模擬試験の実施を行っていき、学生の学習の定着率も把握していく。	特になし。

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 長澤 和花
--------	-----------	-------	-----------

4-15 卒業生の社会的評価

柔道整復学科

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	完成年度をまだ迎えていないため卒業生を輩出していない。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

最終更新日付

令和6年3月31日

記載責任者

学科長 範 菜々美

スポーツトレーナー学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
4-15-1 卒業生の社会的評価を把握しているか	完成年度をまだ迎えていないため卒業生を輩出していない。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 長澤 和花
--------	-----------	-------	-----------

基準 5 学生支援 【平均評定：3.4】

5-16 (1/1)

5-16 就職等進路

柔道整復学科

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	学生の意見を尊重し、将来像を実現できるようにサポートを行う。	学生面談や日々の会話の中から学生の目指す将来像を明確にしていく。 企業説明会の実施や参加を推奨している。	なし。	学生個別面談シート

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学科教員が関連業界との連携をとり、関係構築を行っている。	なし。

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 範 菜々美
--------	-----------	-------	-----------

スポーツトレーナー学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-16-1 就職等進路に関する支援組織体制を整備しているか	就職など進路支援のための組織体制を整備する。	学科長が就職担当教員となり、組織体制を整備している。就職説明会・企業見学への案内の実施。	特になし。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学科長が就職担当教員となり、組織体制を整備している。また、就職説明会や企業見学への案内を行っている。	特になし。

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 長澤 和花
--------	-----------	-------	-----------

5-17 中途退学への対応

柔道整復学科

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が図られているか	成績不良・出席不良とならないように担任や学科教員が指導する。	成績不良や出席不良の学生に対して、随時面談や保護者への連絡を行い、対応している。	なし。	学生個別面談シート

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
成績・出席不良者を学科教員間で把握・共有し、指導している。また、必要があれば保護者への連絡を行い、学内だけでなく、家庭でもご指導・ご支援いただけるように連携をとっている。	なし。

最終更新日付

令和6年3月31日

記載責任者

学科長 範 菜々美

スポーツトレーナー学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-17-1 退学率の低減が図られているか	退学率0%を目指す。	定期的な学生面談の実施。面談以外でも、学校生活の中で学生とこまめにコミュニケーションをとっている。	学生の生活環境を把握し、正しい対応を行っていく。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生との定期的な面談を実施し、面談以外でも普段の学校生活の中でこまめにコミュニケーションをとっている。	特になし。

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 長澤 和花
--------	-----------	-------	-----------

5-18 学生相談

柔道整復学科

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	年に数回、学生個人と面談を行い、不安や困りごとがないかを確認する。	年2回、学生面談を実施し、それ以外でも必要があれば、面談を行う。普段の会話からも相談しやすい環境をつくるように心がけている。	なし	学生個別面談シート
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	該当なし	該当なし	なし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
定期的な学生面談の実施によるサポートを行う。	なし。

最終更新日付

令和6年3月31日

記載責任者

学科長 範 菜々美

スポーツトレーナー学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-18-1 学生相談に関する体制を整備しているか	担任を中心に、学生が相談しやすい環境づくりを行う。	定期的な面談の実施。学生とこまめにコミュニケーションをとっている。	特になし。	
5-18-2 留学生に対する相談体制を整備しているか	留学生は在学していない。			

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
担任による定期的な面談の実施、学生とのコミュニケーションを図る。	特になし。

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 長澤 和花
--------	-----------	-------	-----------

5-19 学生生活

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-19-1 学生の経済的側面に対する支援体制を整備しているか	学生個別の家庭環境に応じたきめの細かい支援体制を整備する。	希望により学生本人や保護者との間で相談の機会を設け、学生個別の経済状況に応じた支援体制をとっている。	学生が相談しやすい環境を整備する。	個別相談資料
5-19-2 学生の健康管理を行う体制を整備しているか	法令に基づいた健康診断の実施を行う。	法令に基づいた健康診断の実施。	特になし。	健康診断記録
5-19-3 学生寮の設置など生活環境支援体制を整備しているか	学生寮の設置が必要となるまでの間は宅地建物取引業者に賃貸住宅物件の斡旋を委ねる。	学生が個別に宅地建物取引業者等に賃貸物件の紹介を受けている。	学生寮の設置が必要となるようであれば、その設置も視野に入れる。	
5-19-4 課外活動に対する支援体制を整備しているか	校外課外活動への引率や指導、学生の習熟度に応じた補講や個別指導の実施を行う。	希望者に対する校外課外活動にかかる支援のほか、学生の習熟度に応じた補講や個別指導の実施。	特になし。	校外課外活動記録

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	副校長 味村吉浩
--------	-----------	-------	----------

5-20 保護者との連携

柔道整復学科

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	保護者と連携をとり、学生のサポートを行う。	期末試験ごとに成績の送付を行い、学生の成績・出席状況についても担任より連絡を行う。	なし。	学生個別面談シート

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
担任から学生状況に応じて、保護者への連絡や面談を実施している。	なし。

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 範 菜々美
--------	-----------	-------	-----------

スポーツトレーナー学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-20-14 保護者との連携体制を構築しているか	保護者との協力体制の構築を行う。	学生の出席状況や成績状況についての書類の郵送を行っている。	出席状況などに問題がある場合、保護者への連絡を行う。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
学生の出席状況や成績状況を把握し、保護者への書類の郵送を行っている。今後は出席状況などに問題がある学生に対しては、保護者と密に連絡を取るよう努める。	特になし。

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 長澤 和花
--------	-----------	-------	-----------

5-21 卒業生・社会人

柔道整復学科

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	完成年度を迎えていないためまだ卒業生を輩出していない。			
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	今後、卒業生輩出後に、再教育プログラムが実施できるよう、臨床実習等を通して、各企業との連携強化を図る。	学外の臨床実習が来年度から開始するため、実習を通して各企業との連携強化を目指す。	なし。	
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	学外実習などを通して、外部との連携を図り、教育に反映させる。	学外実習等を通して、学生に求められている技術・知識・人間性を把握し、教育に反映させる。	なし。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
臨床実習や学外実習を通して、社会に求められる技術・知識・人間性のニーズを把握し、教育に反映させるよう取り組んでいる。	なし。

最終更新日付

令和6年3月31日

記載責任者

学科長 範 菜々美

スポーツトレーナー学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
5-21-1 卒業生への支援体制を整備しているか	完成年度を迎えていないためまだ卒業生を輩出していない。			
5-21-2 産学連携による卒業後の再教育プログラムの開発・実施に取り組んでいるか	完成年度を迎えていないためまだ卒業生を輩出していない。			
5-21-3 社会人のニーズを踏まえた教育環境を整備しているか	社会人学生のニーズ沿った学習環境の整備。	本学科ではまだ社会人学生は入学していない。	特になし。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
本学科では、まだ社会人学生が入学していない状況だが、入学した際には、社会人学生のニーズに沿った学習環境の整備を行う。	特になし。

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 長澤 和花
--------	-----------	-------	-----------

基準 6 教育環境 【平均評定：3.7】

6-22 (1/1)

6-22 施設・設備等

柔道整復学科

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	教育上必要な設備・教育用具を整える。	学生が学ぶ上で必要な教材等を準備する。	なし。	教材一覧

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
前期・後期・学年末に備品の点検を行い、準備を行う。	なし。

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 範 菜々美
--------	-----------	-------	-----------

スポーツトレーナー学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-22-1 教育上の必要性に十分対応した施設・設備・教育用具等を整備しているか	授業内・実習に必要な施設・設備・教育道具を整備している。	授業内・実習に必要な施設・設備・教育道具は整備できている。	特になし。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
授業内・実習に必要な施設・設備・教育道具が最低限整備できている。	特になし。

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 長澤 和花
--------	-----------	-------	-----------

6-23 学外実習、インターンシップ等

柔道整復学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	学外実習・インターンシップについて、適切に運用・実施する。	学科教員が主体となり計画し、学生も積極的に参加している。	なし。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
近隣高校・企業の協力もあり、充実した学外実習を実施することができる。	なし。

最終更新日付

令和6年3月31日

記載責任者

学科長 範 菜々美

スポーツトレーナー学科				
小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-23-1 学外実習、インターンシップ、海外研修等の実施体制を整備しているか	学外実習を積極的に取り入れる。	近隣の中学校・高校の部活動での実習や、地域のイベントへの参加等、多くの学外実習を取り入れている。	特になし。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
近隣の中学校・高校の部活動での実習や、地域のイベントへの参加など、外部での実習を多く取り入れている。	<ul style="list-style-type: none"> ・近隣の中学校・高校の部活動での実習 ・地域のイベントへの参加 ・マラソン大会でのトレーナーブースの出展

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	学科長 長澤 和花
--------	-----------	-------	-----------

6-24 防災・安全管理

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
6-24-1 防災に対する組織体制を整備し、適切に運用しているか	学生および教職員の安全確保を最優先事項とする。	避難経路等の点検。	特になし。	
6-24-2 学内における安全管理体制を整備し、適切に運用しているか	消防計画および防災訓練マニュアルを作成する。	学生の生命を加害者から守るための防犯体制を整備し、適切にこれを運用する。	特になし。	消防計画 防火訓練マニュアル

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
常日頃より防火意識をもって校内設備の状況を確認し、不測の事態が発生しないよう努める。教職員の防火・安全意識の向上に努める。	

最終更新日付

令和6年3月31日

記載責任者

副校長 味村吉浩

基準 7 学生の募集と受入れ 【平均評定：4.0】

大項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
<p>これまでに行って来た学生募集を継続して行っていく。 高校訪問、オープンキャンパス、出張講義等の開催、参加を実施して行く。 また、コロナ禍では実施が出来なかったイベントの開催を積極的に行い、 より多くの方に業界を知って頂く取り組みも行う。 更に SNS 等での情報発信に加え、オンラインでの学校説明会や入試説明会、 個別面談を実施して感染症対策を継続して行っていく。</p>	<p>コロナの影響も収まりつつある現状を踏まえて、今後は学校見学会などの 受け入れも積極的に行い、より明確な学校選びが出来る環境作りに専念 して行く。 また、Web 出願手続き及び県外入試の実施計画を行い、受験生がより良 い環境で受験が出来る体制を整えて行く。</p>

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	広報部長 大庭 俊 輔
--------	-----------	-------	-------------

7-25 学生募集活動は、適正に行われているか

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-25-1 高等学校等接続する教育機関に対する情報提供に取り組んでいるか	本校の教育活動や育成する人材像を高等学校等に情報をお伝えする。	感染症対策への意識を継続して活動をしている為に必ず訪問時は許可を頂く様にして訪問の実施を継続している	入学時の案内だけでなく、卒業後の様子が分かる冊子の作成を行っていく	報告書
7-25-2 学生募集活動を適切かつ効果的に行っているか	専各協会の方針に沿った案内を行っている。	明確な記載がある資料の配布をしている。	Web 出願手続き、県外入試の実施計画を行い、受験生が良い環境で受験が出来る体制を整えて行く。	報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
これまでに行って来た学生募集を継続して行っていく。 高校訪問、オープンキャンパス、出張講義等の開催、参加を実施して行く。 また、コロナ禍では実施が出来なかったイベントの開催を積極的に行い、より多くの方に業界を知って頂く取り組みも行う。	Web 出願手続き及び県外入試の実施計画を行い、受験生がより良い環境で受験が出来る体制を整えて行く。

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	広報部長 大庭 俊 輔
--------	-----------	-------	-------------

7-26 入学選考

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-26-1 入学選考基準を明確化し、適切に運用しているか	入学選考基準に基づいた適切な運用を心がける。	入学選考基準に基づいた適切な運用を行っている。	特になし。	学生募集要項 入学選考基準
7-26-2 入学選考に関する実績を把握し、授業改善等に活用しているか	入学選考における実績を授業改善等に反映させる。	職員会議において入学選考における実績の情報共有を図り、授業改善等に繋げるようにしている。	出身高等学校の調査書記載内容について、具体的な質問をするにも限界がある。	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	副校長 味村吉浩
--------	-----------	-------	----------

7-27 学納金

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
7-27-1 経費内容に対応し、学納金を算定しているか	経費内容に対応した学納金の算定に努める。	経費内容に対応した学納金の算定を行っている。	特になし。	学生募集要項 学則別表
7-27-2 入学辞退者に対し、授業料等について、適正な取扱を行っているか	入学辞退者に対しては入学金のみ徴収することとし、これ以外の授業料等については全額返金する。	入学辞退者に対しては入学金のみ徴収し、それ以外の費用は全額返金することとしている。	特になし。	学生募集要項

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

最終更新日付

令和6年3月31日

記載責任者

副校長 味村吉浩

基準 8 財 務 【平均評定：4.0】

8-28 (1/1)

8-28 財務基盤

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-28-1 学校及び法人運営の中長期的な財務基盤は安定しているか	定員充足率の推移を把握し、収支のバランスをとり、中長期的な財政基盤の安定を図る。	現状は安定している。	特になし	
8-28-2 学校及び法人運営にかかる主要な財務数値に関する財務分析を行っているか	直近 3 年間の財産目録・貸借対照表の数値によって、財務の分析を行う。	外部コンサルタントを含めて分析を行っている。	特になし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
核施設団体等に提出する必要があるものが多く、収支計算書や償還計画など、一年中扱っていることが多い。財政基盤として、学生の確保が最重要課題であると認識している。	ガイダンスへの教員派遣やオープンキャンパスの開催など、積極的な広報活動の実施によって入学者が増加傾向にある。

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	副校長 味村吉浩
---------------	-----------	--------------	----------

8-29 予算・収支計画

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-29-1 教育目標との整合性を図り、単年度予算、中期計画を策定しているか	予算編成に際して、教育目標、中期計画、事業計画等と整合性を図る。	整合性を図っている。	特になし	中期計画 事業計画 予算書
8-29-2 予算及び計画に基づき、適正に執行管理を行っているか	予算の執行計画を策定するとともに、適正に予算を執行するためのチェック体制を整備する。	会計士を含めて毎月のチェックを行っている。	特になし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
理事会を通して予算案の策定発表、また補正予算案等も発表し、確認を試みている。	

最終更新日付

令和6年3月31日

記載責任者

副校長 味村吉浩

8-30 監査

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-30-1 私立学校法及び寄附行為に基づき、適切に監査を実施しているか	私立学校法および寄附行為に基づき、適切に監査を実施する。監査報告書を作成し、理事会に報告する。	適切に実施している。	特になし	監事監査報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
監事による監査はもちろんのこと、会計士とも連携を図り、定期的に状況報告と確認を行っている。	

最終更新日付

令和6年3月31日

記載責任者

副校長 味村吉浩

8-31 財務情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
8-31-1 私立学校法に基づく財務情報公開体制を整備し、適切に運用しているか	財務公開規程を整備し、公開が義務づけられている事項について、ホームページ等で適切に公開する。	適切に運用している。	特になし	本校ホームページ

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
今後も情報公開について積極的な公開を心がけるとともに、適正な情報を公開することを前提に作成していく。	

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	副校長 味村吉浩
--------	-----------	-------	----------

基準 9 法令等の遵守 【平均評定：4.0】

9-32 (1/1)

9-32 関係法令、設置基準等の遵守

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-32-1 法令や専修学校設置基準等を遵守し、適正な学校運営を行っているか	関係法令および設置基準等に基づき、学校運営を行うとともに、必要な諸届を行う。	適切に行っている。	特になし	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
法令遵守を第一義に、規程・規則について必要に応じて適宜整備を図っている。規程・規則についてはさらに整備を図る必要があると考える。	

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	副校長 味村吉浩
---------------	-----------	--------------	----------

9-33 個人情報保護

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-33-1 学校が保有する個人情報保護に関する対策を実施しているか	個人情報保護に関する取扱い方針、規程を定め、適切に運用する。	適切に行っている。	特になし	

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
個人情報の保護については、規程に基づいて徹底した管理を行っている。	

最終更新日付

令和6年3月31日

記載責任者

副校長 味村吉浩

9-34 学校評価

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-34-1 自己評価の実施体制を整備し、評価を行っているか	毎年度各部署において自己評価を実施し、学校関係者評価委員会において評価頂く。	各部署において事業年度ごとに自己評価を行い、課題を見出して改善を図る。	PDCA サイクルを活用して、課題に対する取組みの見直しを図っている。	自己点検・自己評価に関する規程 学校関係者評価委員会に関する規程
9-34-2 自己評価結果を公表しているか	自己評価報告書の完成とともに、速やかに本校ホームページ上において公開する。	自己評価報告書の完成とともに、速やかに本校ホームページ上において公開している。	特になし	本校ホームページ「情報公開」自己評価報告書
9-34-3 学校関係者評価の実施体制を整備し評価を行っているか	学校関係者評価委員会を組織し、同委員会において自己評価報告書の評価を頂くとともに改善点を見出す。	自己評価報告書をもとに、学校関係者評価委員会において改善点等について提起して頂いている。	学校関係者評価委員会において提起がなされた改善点について、優先順位の高いものから順次対応している。	学校関係者評価委員会報告書
9-34-4 学校関係者評価結果を公表しているか	学校関係者評価結果は学校関係者評価委員会報告書に取りまとめ、これを本校ホームページ上において公開する。	学校関係者評価委員会報告書を本校ホームページ上において公開している。	特になし	本校ホームページ 学校関係者評価委員会報告書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
毎年6月に学校関係者評価委員会を開催し、自己評価報告書をもとに評価頂くとともに改善点等について提起事項を報告頂いている。 委員会における評価や改善点等については学校関係者評価委員会報告書に取りまとめ、本校ホームページ上において公開している。	本校ホームページの閲覧者が必要とする情報について、きめの細かい公開に努めている。

最終更新日付

令和6年3月31日

記載責任者

副校長 味村吉浩

9-35 教育情報の公開

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
9-35-1 教育情報に関する情報公開を積極的に行っているか	教育情報について、可能な限り本校ホームページ上において公開する。	本校ホームページ「情報公開」に取りまとめるかたちで、教育情報について公開している。	特になし	本校ホームページ「情報公開」

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）
教育情報として「教育理念」「教育目標」「専門学校における情報提供等への取組みに関するガイドラインの項目に対する本校の情報提供内容」「新法省令確認申請書」「シラバス」「成績管理の実施及び卒業認定について」「職業実践専門課程認定学科における基本情報」「教員名簿」「授業実施計画」「学校行事・課外活動」等について、本校ホームページ上において公開している。	法省令等による情報公開はもとより、より透明性の高い情報公開に努めている。

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	副校長 味村吉浩
--------	-----------	-------	----------

基準 10 社会貢献・地域貢献 【平均評定：4.0】

10-36 (1/1)

10-36 社会貢献・地域貢献

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-36-1 学校の教育資源を活用した社会貢献・地域貢献を行っているか	学校施設をはじめ、学科教員の知識や技術を社会貢献や地域貢献に活かす。	夜間時間帯や休校日など、本校の学校教育事業が行われていない日時において、地域住民に対して体育館等の学校施設を利用して頂いている。	教育資源を活用した積極的な社会貢献や地域貢献を模索すべき。	学校施設貸与記録
10-36-2 国際交流に取り組んでいるか	海外教育機関との国際交流を図る。	海外教育機関との国際交流の実現に至っていない。	将来的に実現する方向で検討中。	

点検中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	副校長 味村吉浩
--------	-----------	-------	----------

10-37 ボランティア活動

小項目	ア 考え方・方針・目標	イ 現状・具体的な取組等	ウ 課題と解決方向	エ イの参照資料等
10-37-1 学生のボランティア活動を奨励し、具体的な活動支援を行っているか	いろんなボランティア活動を学生に経験させて、知見を広める。	各種ボランティアの案内、支援を行っている。	特になし	ボランティアスタッフ募集関係受領文書

中項目総括	特記事項（特徴・特色・特殊な事情等）

最終更新日付	令和6年3月31日	記載責任者	副校長 味村吉浩
--------	-----------	-------	----------